

ランダム係数算出方法の見直しのイメージ図

現行

入札参加者AからDの4者
A~C：ランダム係数上振れのため最低制限価格未満
D：ランダム係数最小値未満のため最低制限価格未満
以上より入札は不落となる。

予定価格

ランダム係数最大値(1.0100)の最低制限価格

ランダム係数を乗じた最低制限価格

A業者(最低制限価格未満)

B業者(最低制限価格未満)

C業者(最低制限価格未満)

D業者(最低制限価格未満)

最低制限価格
基礎額

ランダム係数の
設定範囲

改正

現行のとおり①かつ②の場合、②の範囲内で最も高い入札を上限としてランダム係数を再設定する。

- ①最低制限価格基礎額にランダム係数を乗じた額を超える有効な入札がない。
- ②最低制限価格基礎額にランダム係数を乗じた額が最低制限価格基礎額以上で、その額から最低制限価格基礎額までの範囲内に入札がある。

以上により再設定されたランダム係数によりBが落札者となる。

予定価格

ランダム係数最小値(0.9950)の最低制限価格

ランダム係数を乗じた最低制限価格

A業者(有効札)

B業者(落札者)

C業者(最低制限価格未満)

D業者(最低制限価格未満)

